

完全オゾン処理型循環ろ過システム

略称 『完オゾシステム』

I. 目的

- 資源の有効活用
長期間に渡り、浴槽水の入換えを必要とせず、資源の有効活用に役立てるシステム
- 感染対策
常時、飲料水レベルの水質に維持することが可能なシステム

II. 機器(性能・条件)

- 完全なオゾン殺菌のため、オゾン濃度は 0.3ppm 以上で120秒以上接触の全量一括処理方式である事。
- バイオフィーム対策のため、常時、飲料水レベルの水質を確保する事と、システム停止時の細菌の繁殖を防止するための補助薬注装置が付いている事。
- 産業廃棄物の発生防止のため、熱処理による排オゾン処理装置を設ける事。
- 消耗品の削減のため、ろ材の入換えが不要な、ろ材を使用する事。
- 緊急時には、浴槽水を飲料水として利用可能なシステムを追加できる事。

IV. 工事区分

ユニット方式で2次側配管・配線を機器に組み込んで納入するため、特殊浴槽と同等に施主契約が可能です。
なお、一次側は建築工事代に含まれます。

V. 図面(設計図書)への明記方法

「完オゾ方式」

本製品は、厚生労働省の資源有効活用整備費補助金対象機種です。補助金申請の際には、補助金の適正使用のため、図面(設計図書)への「完オゾ方式」の記載表記をお願い致します。

-----切り取り線-----
今後の参考にさせていただきますので、ご協力をお願い致します。なお、資料請求などもこちらからお願い致します。

アンケート返信

完オゾ協議会事務局行き FAX 03-3221-1159

1.総合講座での完オゾシステムの説明について

もっと詳しく聞きたかった ちょうど良い もう少し省略して欲しい あまり関心がない

2.レジオネラ菌感染対策について

マニュアル通り塩素管理をしていれば良い 塩素以外の方法も考えるべき よくわからない

3.環境対策について

施設排水については施設が責任を持つ 行政の支援が必要 よくわからない

4.完オゾシステム補助金申請について

詳細な説明が聞きたい 資料請求のみ あまり関心がない

施設名		ご担当者名	
住所			
電話番号		E-mail	

完全オゾン処理型システムの導入

完オゾシステムを導入することは、**感染事故の防止・ランニングコストの削減**に効果があります。

今回のマニュアル（改訂版 老人保健福祉施設 建設マニュアル）の127項にも「レジオネラ菌などの発生による感染防止などのため、**循環浄化装置の設置・メンテナンス・水質検査の励行が重要**である。なお、循環浄化装置の設置については、**国庫補助の対象**となっている。」と掲載されております。
なお、完オゾシステムは、ユニット形式で小浴槽が多数ある場合にもオーバーフロー方式で対応できます。

下記は、完オゾシステム（浴槽用・中水用）を導入した場合のランニングコストの比較表です。

浴槽システムランニングコスト概算比較

計算条件 ・浴槽容量 5t（循環容量 10t） ・上下水道 ¥600/t ・電気 ¥12/kw
・燃料 ¥360/t ・完オゾシステム 年4回換水 ・毎日換水 年365回換水

	完オゾシステム	毎日・完全換水
1.電気料	¥42,840	¥0
2.上下水道料	¥204,000	¥1,290,600
3.燃料費	¥400,750	¥1,635,000
4.薬液費	¥1,970	¥3,470
5.管理経費	¥358,700	¥1,578,600
合計	¥1,008,260	¥4,507,670

年間約¥3,500,000.の経費削減になります。

中水システムランニングコスト概算比較

計算条件 ・給水量 150t/日 ・上下水道 ¥600/t ・電気 ¥12/kw

	中水利用	中水利用なし
1.電気量	¥140,440	¥0
2.上下水道料	¥19,710,000	¥32,850,000
3.管理費用	¥350,000	¥0
合計	¥20,200,440	¥32,850,000

年間約¥12,500,000.の経費削減になります。

資源有効活用整備補助金を利用した場合、システムの導入費用は**平均5年未満で償却**が可能です。

補助金の適応になった場合は、御施主様の**導入時負担費用は1/4**となります。

補助金の申請は、**事前申請**が必要です。